

設問C4-3-(1) (青年たちの活動を支援し、さらに教区や地区として新しい企画を試み。) に対する「その他」の具体的な回答

番号	回答内容
1	青年たちがいない。なぜか来なくなった。
2	教会ではほとんど青年をみかけない。青年会の存在もないようなものだ。ただ、外国から来られている青年たちは熱心にミサにも参加されている。日本の社会のなかで青年たちに教会の存在の大切さを感じてもらおう。何かの働きかけ、方法も必要だが、一人ひとりの深いところでの神との出会いを見出せるような導きも大切だと思う。
3	子どもの教理、保護者の教会学校に携わる。
4	青年たちの集う場を作ろうとしている。青年との会話
5	青年会の活動を維持している。
6	青年会活動を定期的に行い、より若い世代が新しく参加しやすいように、務めている。
7	青年会の活動がないようですので、始められたら協力したいです。
8	青年会の黙想会の祈りに参加した。
9	青年の合宿 (FYCC) のために祈った。
10	カトリック校の教員として、積極的に生徒に語った。
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信者ではない子ども、キリスト教を知りたい子どもへの支援を、教会ですていけるように話し合っている。(カトリックの幼稚園を卒園した子ども、学びたい保護者)</li> <li>・幼稚園(カトリック)保護者がにキリスト教講座をしている。</li> <li>・幼稚園児に神様のお話しをしている。(幼児期は、宗教の敏感期なので、…カトリック幼稚園)</li> </ul>
12	青年の方たちをミサ奉仕に加え、毎月の典礼委員会で話し合っている。積極的に奉仕しやすいように、青年の方に時間を合わせる努力をしている。
13	青年たちと会う機会がなく、支援のニーズをつかめません。
14	参加していない。
15	小教区には青年がほとんど来ません。教区での活動を呼びかけ、支援してほしいです。
16	全くなし。
17	青年たちとのコミュニケーションを大切にしている。
18	教会に来てくれた青年への声掛け。(いやがられないように努めながら)
19	できていません。
20	教会に来ない青年たちにSNSやTELで連絡を取っている。
21	自分にできることがありましたら、お手伝いしようと思う。
22	教会とともに歩む青年がいない。親は熱心でも子は教会に向いていない。
23	教会学校も青年たちの活動とみなすなら。
24	取り組めていない。
25	青年とともに捧げるミサで。
26	できていません。
27	教会で声掛けするようにしている。
28	個人的には活動していない。
29	病気や悩みの中にいる青少年のために祈る。
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉塚小教区には青年の活動がない。</li> <li>・大名、光丘、新田原の若者たちと分かち合いをした。</li> </ul>
31	私たちの小教区では、青年が少なく、アルバイトがあつたり、また、恥ずかしい年齢でもあつてか、ひかえ目でミサ参加にもゼロのときが多い。
32	以前、教会に来ておられた若い人とラインでつながっている。

番号	回答内容
33	まず、ミサに参加できるように、青年たちに話をしたい。
34	青年たちがどのように思っているのか。彼らと積極的に話した。
35	若者たちと接点を見出したい。
36	男性の会で青年会活動を支援する。まず、青年会をつくること。
37	高齢化が進み、青少年の減少
38	親戚の子どもたちの代親をさせていただいたり、初聖体のベールをお手製でつくったり、教会への招きに協力した。
39	子どもたちに神様とともにいる喜びを伝え、分かち合っている。
40	青年そのものが少なく、見慣れない青年や人を見かけても声掛けをしている姿をほとんど見ない。
41	他県に進学中の娘に、青年会に行くように促した。
42	若い方たちへイベント参加を促し、共に役割分担して責任の一端を担えるように指導している。
43	小教区に青少年がいない。
44	青年たちの活動を知らない。近年聞いたことがない。情報不足でしょうか？
45	召命を折る会に参加する。
46	青年たちとのかかわりがほとんど無くなってしまった。
47	青年が絶対的に少ない。
48	ベトナムの青年たちと聖歌が歌える様に、月1～2回練習を始めている。
49	若者はほとんどいません。悲しいことに。
50	青年がいない。教会から離れているのを引き寄せる手段が必要。
51	教会に若い方（10～30代）がいない。
52	出来る限り、地域社会において若い世代の人たちの応援や相談に乗っている。
53	若者が少なく、残念だが今回委員会に一人若い人が入ってくださり、その方と一緒に活動をしたり対話をしています。
54	よくわかりません。
55	現在、特に活動していません。
56	青年の活動ができない。小学生、中学生各1名一家族
57	青年がいないので、なかなかむつかしい感じです。
58	まだ実行にいたっていない。
59	祈りにより聖霊様が導いて下さる。
60	教会の作業の折に誘っている。
61	青年が教会のミサに参加するよう、日にちの連絡（〇月〇日が〇〇の日だからおいで）をしている。
62	祈りで支えています。
63	青年たちの活動を物心両面で支援する。
64	ミーティング活動のサポートに務める。
65	保育の中で、子どもたちに、教会が身近にある環境を、教会を訪問することで感じさせている。
66	3人の青年が世界ユースデーに参加して感動的な経験をし、信仰を深めた。
67	青年が教会にいない。
68	教会に青年の参加が少ない。活動するために、人がいない。
69	青年と外国人のみが対象にされるのは範囲が狭すぎるのでは？高齢者、ハンディを抱えた方々も対象に入れるべきでは、と思います。
70	青年たちへの深い愛と信頼と希望を持って祈りながら未来を開いていく若い人々を大切に。
71	技能実習生として来日しているベトナム人の青年の一部に、日本語の勉強を手伝っている。

番号	回 答 内 容
72	青年の活動に関心を持ち、きっかけがあれば声をかけるように心掛けている。 ベトナムやフィリピンの青年たちに挨拶する。
73	青年たちが主体的に活動を行うことによって、喜びや希望、教会への帰属意識を持っていると感じています。 青年たちに寄り添う、支える、応援する姿勢を大切に。
74	出来るだけ、青年たちに小さな声掛けを務めている。
75	活動などはおこなっていません
76	教会で青年と交流を持ち、LINEなどでやり取りした
77	新田原教会の青年と福岡地区の青年が交流する場に関わった
78	所属する小教区では司祭の専売特許を侵すように感じるため手出しせず温かく見守るのみ
79	個人的に関わっています。